

株式会社 吉田産業

構成の柔軟性と高い性能を誇る HCI 700 ユーザが利用する VMware Horizon 環境を支える

建設資材総合商社として、東北一円を中心にビジネスを展開する吉田産業。同社は、PC 環境の効率的な管理などを目的に、以前から仮想化技術を有効活用してきました。アプリケーションの仮想化を経て VDI (Virtual Desktop Infrastructure) に移行。さらに今回、VDI 製品を VMware Horizon に切り替えました。その際、インフラとして採用したのがシスコの HCI (Hyper-Converged Infrastructure) である Cisco HyperFlex です。高く評価したのが性能の高さと、多くのノードを追加でき性能を担保しつつクラスタ当たりの収容ユーザ数を高められること。新しい VDI によって、在宅勤務などのテレワークや工事現場への常駐が行いやすくなるなど、様々な成果が生まれています。



株式会社 吉田産業

所在地
八戸市大字廿三日町 2

創業
大正 10 年

資本金
3 億 6,349 万 4,000 円

社員数
820 人 (2021 年 5 月現在)

URL
<https://www.yoshidasangyo.co.jp/index.html>

青森県八戸市に本社を置く建設資材総合商社の吉田産業。「毎日の暮らしをもっと快適に、もっと心豊かに…」を掲げて、東北地方を中心に「住宅」「建築」「土木」を中心とするビジネスを展開しています。

「商社として資材の供給を行うことが私たちの重要な役割ですが、それ以外にも、商社ならではの総合力と企画力を活かして様々な提案を行っています。例えば、建設会社様の細かなニーズに対応できるよう鋼材の一次加工工場を構えたり、鉄骨工事や外装工事までを一括で担える体制を整えたりしながら、各地の地域づくりに貢献しています」と吉田産業の大久保 修氏は話します。

課題

- ・ PC の故障などのトラブルへの対応、配布時のキitting作業などが負担
- ・ アプリケーションの高度化などに対応するには VDI のインフラは性能が重要
- ・ サーバや NAS をそれぞれ構築する一般的なインフラではディスク I/O によって性能が出ない心配がある

ソリューション

- ・ サーバ、ストレージ、ネットワークリソースが一体になった HCI でディスク I/O の課題を解決
- ・ 柔軟な構成や搭載可能なノード数が最も多かったシスコの HCI、Cisco HyperFlex を採用。VDI のインフラの性能を確保

結果

- ・ 外出中や自宅など、どこにいてもストレスなく業務が行える。工事現場に常駐する工事管理者も特別な準備をすることなく対応できる
- ・ 稼働開始後も性能を強化するためにノードを追加したが、コンピューティングノードを使って、低コストに拡張できた
- ・ はじめて扱う製品であるため構築に戸惑うこともあったが、シスコのサポートを得て、短期間でインフラを構築できた

今後

- ・ VDI を有効活用しながら働き方の改革を加速。セキュリティの強化などでシスコにも期待

VDI によって
外出中や自宅など、
どこにいてもストレスなく
業務が行えます。
工事現場に常駐する
工事管理者も
特別な準備をせずに、
すぐに対応できるよう
なっています

大久保 修 氏

株式会社 吉田産業
本店 取締役業務本部長

課題

PC 環境を最適化するために仮想化技術を積極活用

同社は、非常に早い時期から業務に PC を取り入れており、その PC 環境の最適化のために仮想化技術を積極的に使ってきました。

最初に導入したのがアプリケーションの仮想化です。

一般的にアプリケーションの仮想化は、サーバにアプリケーションを集約して、そこで実行することで PC の OS とアプリケーションの互換性を切り分けられるなどのメリットがありますが、同社の狙いは管理の効率化とソフトウェアライセンス料の節約でした。

「もともと PC は IBM の『OS/2』を OS に搭載したものを導入。各拠点にサーバを立てて、アプリケーションをインストールして利用していました。その後、Windows PC に移行する際に、拠点サーバは廃止し、Office などのアプリケーションをデータセンターのサーバに集約。全社員で共同利用することにしたのです。これによって管理者は、サーバを集中管理することができる上、ソフトウェアのライセンス料を抑えることができました」と吉田システムの菅原 学氏は言います。

次いで導入したのが VDI です。その狙いの 1 つも管理の効率化でした。

「アプリケーションを集約したサーバはデータセンターで集中管理できるものの、PC は分散したまま。故障などのトラブルへの対応、新たに配布する際のキitting作業など、その運用管理が負担となっていました。そこで VDI を導入し PC も集中管理できるようにしたのです」と吉田産業の柴田 大樹氏は言います。

また、アプリケーション仮想化環境では、うまく実行できないアプリケーションがあったことも VDI への移行を後押ししました。

そして今回、同社はサポートコストの最適化などを図るた

めに、VDI の刷新に着手。VDI 製品に VMware Horizon を新たに採用し、環境を一新することにしました。

稼働開始後も性能を強化するためにノードを追加しましたが、コンピューティングノードを使って、低コストに拡張できました

ソリューション

最も性能を出せる HCI として Cisco HyperFlex を採用

VMware Horizon への VDI の移行に当たり、同社はインフラにシスコの HCI である Cisco HyperFlex を採用しています。

まず評価したのが性能です。

企業が利用する Windows やビジネス向けアプリケーションは、バージョンアップによって、年々、高機能化しています。場合によっては、インフラがそれに追いつかず、吉田産業でも VDI の動きが重くなるがあったといいます。そのため VDI を支えるインフラは、その時点で最高水準の性能を持つものを選んでおきたいという思いがありました。

「そこで考えたのが HCI の活用です。サーバと NAS をそれぞれ立てる通常の構成では大量のディスク I/O によって性能が大きく劣化してしまいます。それに対して、HCI はサーバとストレージが一体化しており、その心配がない。さらに当時、提供されていた HCI の中では Cisco HyperFlex の性能が一步抜きん出ていました」と吉田産業の宇野 謙一郎氏は言います。

Cisco HyperFlexは、汎用的なワークロードからミッションクリティカルなワークロード、データセンターからエッジまで幅広い領域をカバーできるよう、目的に応じて構成を柔軟に組み替えられる特徴を持っています。SSDやオールフラッシュといった記録媒体の選択はもちろん、ローカルストレージを持たないコンピューティング専用ノードなどを組み合わせれば、効率的に性能を高めることが可能。同社は、この特徴を高く評価したのです。

「また、吉田産業のVDIは、コンピューティング、ストレージ、ネットワークを利用者で共有して節約するという発

想ではなく、一人ひとりに十分なリソースが割り当てられるように設計されています。ですから、できるだけ多くのユーザを収容するために、クラスタ当たりのノード数を多くしたい。Cisco HyperFlexは、当時、最も多いノード数に対応しており、その点も採用の決め手となりました」と菅原氏は続けます。

さらに同社は Cisco HyperFlex だけでなく、性能と信頼性の高さを評価して VDI のネットワークにもシスコのデータセンタースイッチである Cisco Nexus シリーズを採用しています。

図 1 吉田産業の VDI を支える Cisco HyperFlex の構成

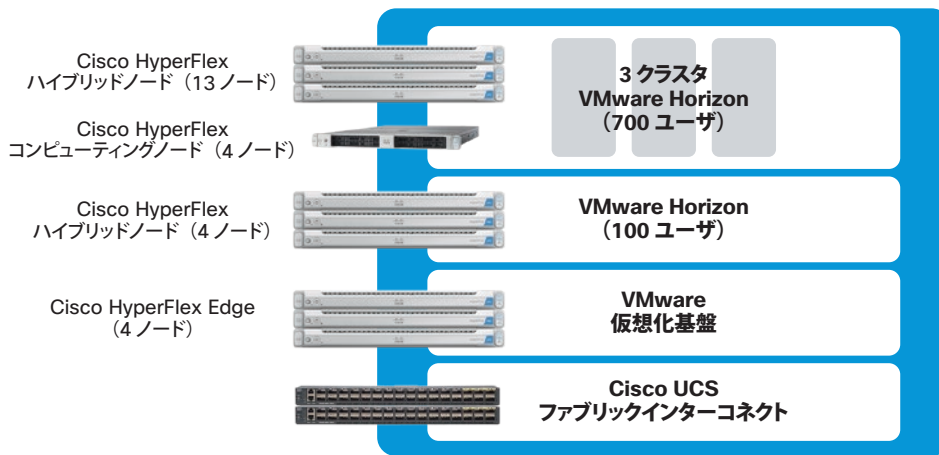
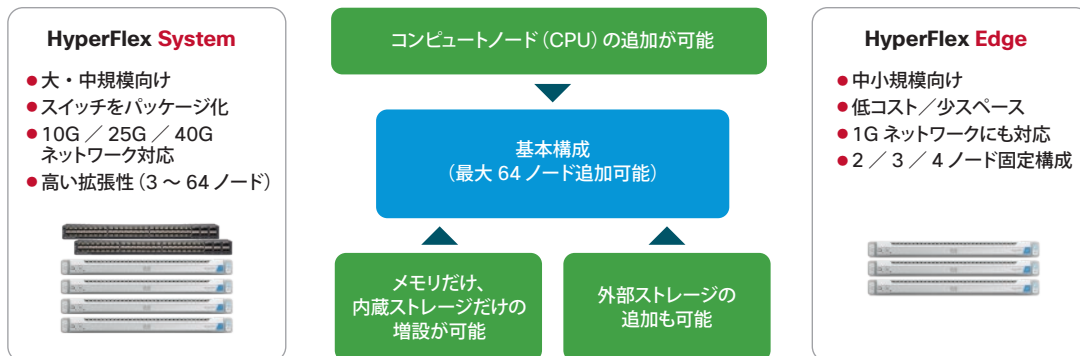


図 2 柔軟な構成が可能な Cisco HyperFlex

- 最小 2 ノードから最大 64 ノードまで幅広い提案が可能
- HX Edge に関しては、1G ネットワークにも対応
- コンピューティングノードのみの追加が可能で、低コストに HCI ノードを増強



結果～今後

工事現場への常駐など柔軟な働き方を支える

VMware HorizonとCisco HyperFlexによるVDIは、現在、吉田産業の約700ユーザの業務を支えています。

「順調に安定稼働をしています。稼働開始後も性能を強化するためにノードを追加しましたが、コンピューティングノードを使って、低コストに拡張できました。他社のHCIの場合、ストレージもセットになってしまうため、どうしても高額になります。拡張時もCisco HyperFlexを選んでおいてよかったと感じました」と宇野氏は話します。

性能と信頼性に優れた新しいVDIを構築できたことは、現在、同社が積極的に取り組んでいる働き方の改革にも貢献しています。「外出中や自宅など、どこにいてもストレスなく業務が行えます。特に工事の管理者は、一定期間、工事現場に常駐することになるのですが、VDIがあれば、新しいPCを用意するなど、特別な準備をせずともすぐに対応できます」と柴田氏は言います。

構築に当たっては、シスコが全面的にサポート。はじめて扱う製品であるため戸惑うこともありましたが、サポートを得て、短期間の内にインフラを構築できました。

セキュリティなど、今後も幅広いサポートを期待

今後、同社はVDIを有効活用しながら働き方の改革を加速させていく考えです。

「そのためには、パブリッククラウドをいかにセキュアに利用するかなど、様々な課題をクリアしなければなりません。性能や信頼性でVDIを支えるだけでなく、インターネットブレイクアウトやセキュリティなど、幅広い側面で私たちのビジネスを支えていただきたいですね」と大久保氏は、最後にシスコへの期待を述べました。



株式会社 吉田産業
本店 取締役業務本部長
大久保 修 氏



株式会社 吉田産業
本店 業務本部 業務部 IT業務室 室長
柴田 大樹 氏



株式会社 吉田産業
本店 業務本部 業務部 IT業務室
宇野 謙一郎 氏



株式会社 吉田システム
営業本部 データセンター 次長
菅原 学 氏



建設資材、環境資材、土木資材、住宅設備機器の
販売および施工、気象情報の販売を手掛ける。「毎
日の暮らしをもっと快適に、もっと心豊かに…」を
掲げて、東北地方を中心に「住宅」「建築」「土木」
を中心とするビジネスを展開しています。

URL <https://www.yoshidasangyo.co.jp/index.html>

製品 & サービス

- Cisco HyperFlex
- Cisco Nexus シリーズ

シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 10:00-12:00, 13:00-17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

cisco.com/jp/go/vdc_callback



©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved
Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会
社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイト
に掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」と
いう用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。
(1502R) この資料の記載内容は2022年1月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告な
く変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>